

いばらき

No.175
2015年3月

こども大会

ご参加ありがとうございました!!



今年度も12月6日（土曜日）に子ども大会を開催しました。

毎年楽しみにしてくださる方も多い、今年も100名を超える保護者の方や子どもさんたちにご参加いただきました。今回は、ボランティアで読み聞かせをしている方が参考にしたいと参加してくださっている姿もあり、小さい子どもから大人まで楽しんでいただいた1時間でした。

内容は大型紙芝居や絵本の読み聞かせ、幕間のイベントとして恒例になっているマジックショー、おはなしや人形劇でした。小さい子どもさんにも最後まであきずに参加していただける参加型の内容でしたので、お話をあわせて、いつしょに掛け声をかけたり、歌ったりして、とても楽しい時間になりました。



来年度もまた、同じ時期に開催する予定です。次回もたくさんのご参加をお待ちしています。



- | | |
|---------------------------------|-----|
| ◎ こども大会～ご参加ありがとうございました！！～ | P 1 |
| ◎ 県公共図書館等協議会表彰団体紹介 | P 2 |
| ◎ 資料紹介 <図書館工トセトラ> | P 3 |
| ◎ 第33回県立長崎図書館講座・長崎ゆかりの文学展第4回企画展 | P 4 |
| ◎ 県内図書館散歩・職場体験活動紹介 | P 5 |
| ◎ 2階ロビー企画展・お知らせ、行事案内等 | P 6 |

県公共図書館等協議会表彰団体紹介

● おとぎのへや読み語りの会（諫早市）



○昭和55年発足

当時、西彼杵郡多良見町の中央公民館内に、開設された公共図書室に集まる子どもたちに、数人のお母さんたちで絵本の読み聞かせをはじめたのが、この会の原点でした。県立図書館の巡回図書を借り受けながら、おはなしの時間やおたのしみ会などを通じて、手作り紙芝居や影絵・スライドなどを上演し、絵本のすばらしさを伝えることはもちろんのこと、読み手と聞き手が“お話の世界”を共有し合うなかで、豊かな心とその成長を願い、子どもたちに1冊でも多くの本と出会いの橋渡しができるように活動しています。

○主な活動

毎月1回の子どもの本や絵本などなどの情報交換や、独自の学習会（読み聞かせ・紙芝居・ストーリーテリング等）を行い、会員相互の親睦と活動の充実を図っています。2004年秋、地域住民のねがいが叶って、多良見町立たらみ図書館が完成してからは、さらに活動の充実に努めてまいりました。たらみ図書館の「おはなしの時間」や、町内外の学校、児童保育、育児サークルなどでかけ、また、たらみ図書館の“海のホール”を使った「夏休みこどもフェスタ」などの独自企画を実施しています。

ここ数年は「心を育む集会」「平和集会」などにも招いていただき、音楽を取り入れた読み語りも行っています。

今年度は長崎県公共図書館等協議会より表彰を受け、会員一同いっそうの励みになりました。

これからも、さらに研鑽をつみながら活動の充実に努めてまいります。

● ぼちぼち文庫（東彼杵郡川棚町）



このたびは、長崎県公共図書館等協議会において表彰をいただき、心から感謝申し上げます。

私たち「ぼちぼち文庫」は、地域の子どもたちが親子で多くの絵本と出会い、友達と一緒にお話の世界を楽しみながら、親子の触れ合い・地域の人々との触れ合いを深め、心豊かに成長して欲しいとの願いから、平成9年会員5名で読み聞かせの会を開いて18年目を迎えました。当初は会員の自宅を開放していただき、毎月1回絵本を持ち寄ってのスタートでした。その後も会員も8名に増え、地区公民館の建設に合わせ広間の一角に書棚を作っていただき、毎月第4金曜日午後8時から1時間程度のおはなし会を地区公民館で行っています。

絵本の読み聞かせと絵本の貸し出し（ぼちぼち文庫で450冊ほどの絵本を所有しています。）を中心とした毎月の定例会のほか、季節に合わせ、おつきみ会（9月）クリスマス会（12月）折紙会（1月）などを開催し、会員手作りの人形劇や影絵・ペーパーサークル・パネルシアター・折紙などで、地域の方々と一緒に楽しい一時を過ごしています。また、町の子育て支援センターでのクリスマス会や地区子供会・老人会との交流会・川棚町の読書フェスティバルなどにも参加させていただき、絵本のすばらしさやお話の世界の楽しさを多くの方に伝えたいと活動しています。

今回の表彰を励みとして、これからも子どもたちの笑顔に会えるのを楽しみに、ぼちぼちと息長く活動していくたいと思います。

資料紹介

《図書館エトセトラー 国会図書館から学校図書館まで》

一口に“図書館”といっても、公共図書館、大学図書館、学校図書館などいろいろな種類の図書館があります。図書館の種類が違えば、そのサービスの対象とする利用者や、目的とするものも違ってきますが、“資料を収集し、保存して、利用者に供する”ことはどの図書館でも同じではないでしょうか。

今回は、いろいろな図書館を紹介している本を選んでみました。

『国立国会図書館のしごと – 集める・のこす・創り出す』

(編著) 国立国会図書館 (発行) 日外アソシエーツ

日本で唯一の国立図書館である国立国会図書館（以下“国会図書館”）。一般的には馴染みの薄い図書館ですが、その働きは法律を作る国会の審議に必要な資料を揃えたり、国會議員の依頼に応じて調査をするなど、国民である私たちの生活にも大いに関わっています。この本には、職員と利用者の間のいろいろなエピソードを交えて仕事の内容が紹介されており、国会図書館の日常を知ることができると共に、国会図書館を身近に感じることができます。



『図書館に行ってくるよ – シニア世代のライフワーク探し』

(著) 近江 哲史 (発行) 日外アソシエーツ

著者は子どもの頃から読書が好きで、学生、社会人の時代を通じて図書館を利用してきました。そして定年退職後、この本の副題にあるように「テーマ探しとライフワーク実現のために」今も図書館に通っています。この本は、利用者の立場から書かれた図書館の本です。

『学校図書館は何ができるのか？ – その可能性に迫る』

(共著) 門脇久美子 ほか (発行) 国土社

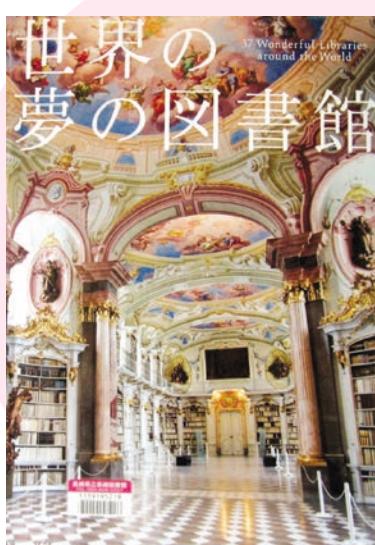
2014年6月、学校図書館法が改正され、“学校司書”が法制化されました。この本には、島根県の小・中・高校の学校司書の実践が納められています。それぞれの学校司書の仕事の方法や、学校図書館を活用した授業づくりのノウハウ、学校司書の悩み解決のヒントなどが満載です。

学校図書館は
何ができるのか?
その可能性に迫る

小・中・高等学校の学校図書3人の仕事から学ぶ

門脇久美子・実面和美・津谷成子・堀川照代

[著]



『世界の夢の図書館』

(執筆) 清水玲奈 ほか (発行) エクスナレッジ

表紙の写真は宮殿と見間違うほどに美しい装飾を施されたオーストリアのアドモント修道院図書館です。この本には世界遺産にもなっている豪華絢爛な図書館から、先進的な現代建築まで、世界の37の図書館がその美しい写真と共に紹介されています。そして、そのどれもが現在も使われている図書館です。どうぞ、『世界の夢の図書館』をご堪能ください。

第33回 県立長崎図書館講座

講演「戦国武将の教養獲得と読書 — 人格をどう磨いたか —」を開催しました。

昨年の11月9日(日)に、静岡大学名誉教授の小和田哲男氏を講師にお招きし、講演「戦国武将の教養獲得と読書 — 人格をどう磨いたか —」と題する図書館講座を開催しました。

講演では、2014年NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」などのドラマの時代考証に関する裏話を交えながら、乱世にありながらも教養獲得に熱心であった戦国武将の実像に迫るお話をいただきました。戦国武将がリーダーとしての資質や人格を磨くために、中国の歴史書や兵法書から日本の古典文学に至る幅広い読書によって教養を高めていたことや、中国の古典によく通じていた禅僧が戦国武将の教育に深く関わっていたことなどについて具体例を挙げながら非常にわかりやすく語ってくださいました。講演の後の質疑応答でも、受講者の数多くの質問に一つ一つ丁寧に答えてくださいり、そのやりとりも会場を沸かせました。

受講者からは、「戦国時代の武将がどのようにして一人前になっていったかよくわかりました。」「わかりやすく、興味深いお話の内容に感動しました。学ぶべき多くのことがありました。」等の感想が寄せられ大変好評でした。



講師の 小和田 哲男 氏

長崎ゆかりの文学展のご紹介

第4回企画展「収蔵品展～映像化された長崎の文学～」開催中

県立長崎図書館では、本県にゆかりのある作家や文学作品を中心に、「長崎ゆかりの文学展」として、年4回の企画展を開催しています。今年度最後の企画展は、「収蔵品展～映像化された長崎の文学～」です。

本県は、豊かな自然や独特の歴史と文化を有し、多くの文学作品の舞台となっていました。映画やテレビドラマなどに映像化された長崎ゆかりの文学も数多くあります。



今回の企画展では、永井隆「長崎の鐘」、宮崎康平「まぼろしの邪馬台国」、村上龍「69 sixty nine」、さだまさし「解夏」、青来有一「爆心」、吉田修一「悪人」など映像化された長崎を舞台とする文学作品を中心、本館が所蔵する関連資料を紹介し、長崎の文学の豊かな香りをお伝えしています。

それぞれの作家の作品や直筆色紙・サイン本などの直筆資料、映画やテレビドラマのリーフレット等を展示しています。

会期は4月5日（日）までです。この機会にぜひご来館ください。

常設展「シリーズ 長崎文学散歩」も開催中

本県には豊かな文学を育んだそれぞれの土地に、作家の功績を讃えるとともにその作品を後世に継承するために多くの文学碑が建てられています。そのような県内の文学碑や文学作品の舞台の写真と、解説パネルや本館所蔵資料を展示し、長崎ゆかりの文学を「長崎文学散歩」としてシリーズで紹介しています。

第8回目の現在は、斎藤茂吉歌碑（長崎市）と長崎ぶらぶら節の碑（長崎市）、鈴木忠次歌碑（大村市）、川原悠々句碑（大村市）です。

斎藤茂吉が長崎に在住した時に作った歌の直筆色紙や直筆はがき、小説「長崎ぶらぶら節」の著者であるなにし礼の直筆色紙などを展示しています。企画展と併せてぜひご観覧ください。

シリーズ 県内図書館散歩 15

(長与町図書館)



長与町図書館は、昭和59年7月の自動車文庫「ほほえみ号」の巡回ではじまりました。旧役場庁舎を改装して開館した図書館も25年を経過しました。自動車文庫も、2代目「新ほほえみ号」が町内を巡回し、保育園の子どもたちや地域の方々に喜ばれています。

館内の児童コーナーでは、「長与子どもの本の会」の方々に協力していただき、定期的におはなし会を行っています。また、小学校へクラスごとに本の貸出をしたり、夏休みには「子ども読書クラブ」を開いたり、子どもたちがたくさんの本と出会えるように、読書支援をしています。

図書館が「本・ひと・学びとの出会い」の場となるよう、これからも取り組んでいきたいと思います。



職場体験活動の紹介

～長崎市立岩屋中学校 2年川崎凌典さん・嶋田朋華さん～



長崎県立図書館での職場体験において、最も印象に残っているのは本の量です。図書館の裏側の書庫には驚くほど多くの貴重な本や資料、古い新聞などが大切に保管されていました。その一つひとつが長崎県の歴史を物語っているようで圧倒されました。また、活動の中では、まだ登録されていない本をパソコンに入力していく作業が楽しかったです。検索しやすいように分類され、これから多くの方々に利用されていくのだと思い、間違いないように入力しなければと緊張しました。このように、貴重な体験をさせていただき、とても勉強になりました。本当にありがとうございました。(川崎 凌典)



私は、職場体験学習に行くのに、不安や心配がありました。三日間、分らないことや失敗が多くて、職員の方々にご迷惑をかけてしまうのではないかと思っていました。しかし、皆さんが優しく丁寧に教えてくださったので、とても心強かったです。一日目は郷土課で、昔の新聞を読みました。貴重な古い資料が大切に保管されていました。二日目は奉仕課で、室内の飾りを作りました。利用者の方々への温かい心遣いをされていることに改めて気づきました。三日目は資料課で、パソコンを使う作業をしました。上手に使えたので嬉しかったです。このように働く中で、仕事に誇りを持つことの大切さも教えていただきました。三日間、ありがとうございました。(嶋田 朋華)

公開講座を開催しました。

3月8日(日)に放送大学長崎学習センターと共に開催しました。当日は、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授の西田孝洋氏を講師にお迎えし、「遺伝子治療の現状と課題、そして未来」と題して講演していただきました。治療が難しいとされている病気の画期的な治療法として期待されている遺伝子治療について、わかりやすくお話しいただきました。

講演終了後に熱心に質問をする受講者の姿もあり、最先端の医療技術に触れるきっかけとなる時間でした。



2階口ビニ企画展のご案内)

「ペコロスの世界」 ～岡野雄一原画展～

2月6日より認知症の母親との生活、介護体験を題材にした漫画『ペコロスの母に会いに行く』、『ペコロスの母の玉手箱』で全国的に注目された岡野雄一氏の原画及び掲載誌等を展示しています。印刷された絵とはまた違う、原画ならではの味わいをお楽しみいただけます。

開催は4月5日（日）までです。ご来館の際にぜひお立ち寄りください。



チョーク絵って？！（終了）

平成26年11月18日から平成27年1月18日までの間、「チョーク絵って？！」と題し、県立佐世保西高等学校の美術科教諭、小野大輔氏とその指導を受けた佐世保西高等学校の生徒のチョーク絵作品及び関連資料等を展示しました。黒板に白のチョークと消しゴムのみを使用して描かれた表現豊かな作品に、足を止めて観覧する利用者も多く、たいへん好評のうちに終了しました。

県立長崎図書館からのお願い

卒業・入学・異動の季節です。

借りたままになっている本はありませんか？
万一、返却されていない本がありましたら、ご返却をお願いします。

※玄関横の返却ポスト（24時間対応）へ返却も可能です。図書館の本は県民共有の財産です。

また、住所等連絡先の変更があった方は、県立長崎図書館までお知らせください。

催し物のご案内

平成27年度「長崎ゆかりの文学展」

(第1回企画展)

「長崎ゆかりの絵本作家展」

(平成27年4月21日～平成27年6月21日)

場所：県立長崎図書館 4階郷土資料展示室

時間：9:30～17:00（ただし休館日を除く）

第34回（平成27年度第1回）

県立長崎図書館講座 「涙のインクから、やさしさのカタチへ ～絵本作りから教わってきたこと～」

講師：本間ちひろ氏（絵本作家・詩人）

日時：平成27年5月23日（土）13:30～15:30

場所：県立長崎図書館 2階 講堂